



県内の死亡野鳥において 鳥インフルエンザウイルス陽性を確認

青森県五所川原市で令和5年12月19日にハシブトガラスの死亡野鳥1羽が回収され、簡易検査でA型インフルエンザウイルスの陽性反応が確認されました。（今後、遺伝子検査で高病原性鳥インフルエンザであるか確認します。）

本事例は、本県の野鳥における今シーズン初事例となります。野鳥による本病ウイルスの侵入リスクが非常に高くなっていますので、引き続き農場の防疫対策の徹底をお願いします。

消毒等の徹底

- 農場、鶏舎に出入りする人の衣服や靴の交換及び車両消毒の徹底
- 衛生管理区域内（鶏舎周辺等）への消石灰散布

野生生物の侵入防止

- 防鳥ネットの破損の有無を点検し、破損があれば速やかに修繕を
- 畜舎周囲にエサ等の野生動物を誘引するものを置かない



本病を疑う症状が見られたら、速やかに家畜保健衛生所へ

- * 1日の死亡率が過去3週間の平均の2倍以上になった
- * 5羽以上まとまって死亡している
- * とさか・肉垂等の暗青色化、沈うつ、産卵率の低下 など

三八地域県民局地域農林水産部 八戸家畜保健衛生所

TEL: **0178-27-7415**

FAX: 0178-27-7418

夜間・土日祝祭日の場合 家保携帯: **090-7069-7714**